

企画競争実施結果

令和7年6月24日
経済産業省中小企業庁経営支援部商業課

事業名：令和7年度「中小企業実態調査委託費（ゼブラ企業創出・育成のためのエコシステム定着に向けた支援・分析（インパクト評価を用いた連携・支援実証調査）」

（採択事業者）		
事業者名	法人番号	提案価格
EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	6010001107003	383,565,000

（提案事業者名）
①EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
②PwCコンサルティング合同会社
※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

（審査委員属性）
学識経験者
経済団体
独立行政法人
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

（採点結果）	提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社		125	137	89	351
事業者A		97	141	101	339

提案事業者名	提案書の記載内容	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か。	事業を遂行するための資力、資金調達能力を有しているか。	事業規模は妥当か。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか。	コストパフォーマンスが優れているか。また、適正な積算が行われているか。	委託事業の関連分野に関する知見を有しているか。また、類似事業の受託実績はあるか。	ワーク・ライフ・バランス等推進企業であるか。	実証事業について	実証内容について	合計
EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	適	39	26	11	26	22	13	12	132	70	351
事業者A	適	37	26	11	24	22	11	12	130	66	339

（評価コメント）	提案事業者名	コメント
EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社		・各地におけるローカルゼブラの可能性と課題を掴み、本事業にも具体的な活動をすぐに実践できる体制があると見た。地域内外の有効なネットワークの中で、伴走者同士、実証機関同士の関係構築は良いものと想像するが、対外的に認知や価値をどう広げていけるかは課題だと感じる。本事業にかける思いや熱意、遂行するためのチームワークの高さやビジョン共有が感じられる。 ・独自に主催してきた「先駆者ネットワーク」の基盤を活用して、効果的・効率的に本事業の推進を図ろうとしていることを評価できる。本提案は大都市のマーケットも呼び込むローカル・コミュニティが水平連携する構造を目指しており、このことが個々の地域のエコシステム形成を支援しながら、全国的な展開を可能にする仕掛けとなっている。総合的にみて、経験・知見とも十分に有し、本事業の目的を達成するためのネットワークや大勢も分かりやすく提案されていると評価する。 ・地域エコシステムの強化・成長への視点が薄く、スタートアップ支援をローカルゼブラ支援に置き換えて企画しているような印象。このため、ローカルゼブラ支援を通じて、地域課題解決が図られるのか、通すじが見えてこない。資金調達についても、ローカルゼブラの事業規模が従業員10人前後の事業規模であることも想定される中で、企画書ではスタートアップ支援で活用されるような調達手段が記載されており、地域金融機関を含め地域経済のネットワークを活かしきれていないと思料。
事業者A		・なぜローカルゼブラが必要か、この存在が日本社会をどう変えて、国内外にどのようなインパクトや影響をもたらしていけるかという中長期的ビジョンを踏まえた上で、これらの戦略策定ができているとよかった。伴走者や再委託先の専門家は実力者も揃っているが、その方々の連携や目線合わせなどもこれからの課題と見た。金融機関などへのヒアリングは有効で、期待できると思うと同時に、ここから出る知見の仮説と活動がどのくらいリンクするのか気があった。 ・ローカル・ゼブラ企業の活動の基盤を整備する上で、多様な関係者（地域の中堅・中小企業、大企業）の巻き込みが必要という観点から、具体的な声掛けネットワークを提示していること、その中でも地域金融機関との連携を掲げていることを大きく評価する。多様な資金調達手法の普及・推進に向けた基礎情報の整理において、具体的な事例をあげていることや、有識者へのヒアリングを通じた知見の底上げを図ろうとしている点、スポンサー支援者の資金提供者として実際に投資支援をしているキャピタリストをあげている点を評価した。総合的にみて、経験・知見とも十分に有し、本事業の目的を達成するためのネットワークや大勢も分かりやすく提案されていると評価する。 ・当該法人は、大企業との接点はもとより、地域の中堅企業（兄ゼブラ・姉ゼブラ候補）との多様な接点がある点が記載されている。また、これまで地域企業と連携した事業を展開した経験も踏まえて、地域の支援機関（商工会議所、金融機関等）とのネットワークを構築する点が記載されている。資金調達について、地域金融機関の視点を入れて分析するとしており、実態に即した知見等の整理が期待できる。事業実施を通じて、ローカルゼブラ企業と地域内外のステークホルダーによる地域エコシステムの成長・強化が期待できる。